

熱血少年少女応援部



■ 第3回 ■ 岩間卓球スポーツ少年団

市内のスポーツ少年団を紹介する新コーナー「熱血少年少女応援部」。
第3回は岩間卓球スポーツ少年団を訪ねました。

導針 指方

卓球を好きになる。
あいさつをきちんとする。

技の習得や体力づくりだけでなく、
心も育てる。

小学1年生から中学3年生までの男子7名、女子8名の15名が在籍しています。指導者は8名です。

卓球は、「スポーツ界のチェス」ともいわれ、「反復横跳びや100m走をしながらチェスをする」と例えられる高度な瞬発力と判断力・戦略（脳）を使うスポーツです。いかに相手の「脳」を読みきれるかが勝負の分かれ目となります。そのために、「多球練習（球出し）」や課題別反復練習には特に力を入れていて、「瞬時に勝手に体が動く」よう練習を重ねています。

なぜミスをしたのか考えさせよう。
それが大切なんです。

勝負ですから、必ず勝ち負けがあります。勝ったからOK、負けたらNGではないですよ。頭で考えることを



キャプテン

のぐちしんたろう
野口慎太郎くん(男子)
しのざきみさ
篠崎美沙さん(女子)

■キャプテンとして心掛けていることは？

メリハリある練習が進められるよう「大きな声で、はっきりと」体育館内の全員の耳に届くよう号令をかけることを意識し、良い雰囲気や活動できるように心掛けています。

■目標は？

上位リーグへの昇格や次の大会でシードに入ることです。



ー スポーツ少年団 ー

青少年の健全育成のために創設されたスポーツ少年団は、東京五輪の2年前に創設されました。スポーツ少年団は、同じ年の子どもと同じ目標に向かって走ったり、学年の違う子どもともふれあったりできます。この貴重な機会を体験しませんか。

せすに練習を重ねてもあまり身に付かないんですよ。負けたって素晴らしい試合はたくさんあるし、勝っても内容が全然ダメなものもある。
自ら考えて、そのミスを次に生かせるようになってもらえたらとの思いで指導しています。

しかし、指導者としては少しでも子どもたちに強くなってもらいたい、ひとつでも多く勝って欲しいという思いもあります。

元世界チャンピオンのワルドナー選手を岩間海洋センター体育館にお招きし、その高度な技術を自分たちの目で見てもらったこともありました。

スポーツを楽しむ心。
友を大切にすることを育てる。

最初は体育館に入ることさえ緊張する子どもたち。練習をはじめると、さつきでできなかった事ができるようになって笑顔になっていく。更にうまくできるようになっていくと、その笑顔の先には「もっとうまくになりたい」と集中力を高め、凛々しい表情へと変化していきます。顔を合わせたら「こんばんはー」としっかりとあいさつをし、卓球を通じて仲間を大切に思いやる気持ちを育ててもらえたらと思っています。

指導者コメント



「卓球を好きになってもらう」とこと「あいさつをしっかりとる」ことを一番大切にしている、みんなが気持ちよく練習できる環境づくりをすすめています。卓球にご興味のある方は、ぜひ見学においでください。

こぼれ話
小林啓一 関東大会8回優勝、愛知国体出場。
こぼれ話
小林正子 全国大会9回優勝、鳥取国体優勝。



活動拠点 岩間海洋センター体育館 練習日時 毎週金曜日
その他活動 ・当団主催の大会(1月団体戦、2月個人戦それぞれ500名規模の大会)
・各種大会への参加(千葉、常陸大宮、日立などほぼ毎月)

団のPR

子どもたちに自分たちが持っている技術や精神面を教え上達できるよう指導しています。私達夫婦も現役選手として全国優勝を目指しています。

指導者、保護者、子どもたちが一体となって協力することで、良い雰囲気や活動を進めています。

小林 TEL.0299-45-8062